



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第361号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「係をきめよう」

湖北台西小学校の4年生の学活で Abi-キャリアの授業が展開されました。今日の授業では、係の仕事を見直し新しい係活動を考えます。そのなかで、自分たちの係活動の取り組みについて振り返り、よりよい活動に改善していくことが目標です。

係活動の意義について考え、客観的に活動を見直してみると、課題のある係とうまく活動できている係があることが分かりました。結果が分かれた原因を分析していくと、仕事量の違いに原因があることに気が付きました。子ども達は、考えたことをお互いに伝え合い、対策として「人数の見直し」「互いに助け合える係を結び付けていく」という方法を考えました。今後は、考えたことを実践・調整し、3学期の係活動につなげていきます。



話し合い活動からは、互いのことをよく知っているからこそ、それぞれの能力を活かして係活動を充実させていこうという子ども達の思いが伝わってきました。互いに助け合うという視点で話し合いを深め、学級をよりよくしたいという思いが育つ、温かい授業でした。

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「プロフェッショナルに聴く会」

湖北台西小学校の6年生がキャリア学習として、「プロフェッショナルに聴く会」の授業を行いました。地域新聞社に協力をいただき、銚子丸、伊藤ハム、広島建設、ZOZO、地域新聞社の5社、そして日頃からお世話になっている近隣の農家である「ベジ LIFE!!」に職業のプロフェッショナルとして講話いただきました。

児童は、6企業の中から3社を選び、質問タイムを含め45分間ずつ話を聞きました。1日の仕事の流れ、体験した内容、その職業に就くために必要な資格などの話を聞くだけでなく、ソーセージ作りに使われる材料に触れたり、新聞記事を書いたり体験活動も行いました。質問タイムでは、事前学習を通して出てきた疑問を企業の方たちに積極的に質問しました。「やりがいとは?」「一番大変だったことは?」「実際に働いてみて変わったことは?」など多数の質問が児童たちから出てきました。企業の方が答えてくださった内容を一生懸命にメモする姿からも今回の職業人講話が生徒にとって有意義なものになっていることが感じられました。



今回のプロフェッショナルに聴く会は、新しい職業観を見出したり、自分の目標や夢を再確認したりすることができる時間となりました。